

飼料を汚染するマイコトキシン(かび毒)とその毒性

マイコトキシン	産生するかび	汚染の可能性 がある飼料	家畜に対する影響
トリコテセン(デオキシニバレノール、ニバレノール、フザレノンX、T-2トキシン、ネオソラニノール、ジアセトキシスシルペノールなど)	<i>Fusarium graminearum</i> , <i>F. roseum</i> , <i>F. poae</i> , <i>F. tricinctum</i> , <i>F. equiseti</i> , <i>F. lateritium</i> , <i>F. sporotrichoides</i> など	麦、トウモロコシ、トウモロコシサイレージ	消化器障害(嘔吐、食欲低下、下痢)、増体率の低下、皮膚炎、無白血球症、再生不良性貧血、免疫機能障害
フモニシン	<i>Fusarium verticilloides</i> (<i>F. moniliforme</i>), <i>F. proliferatum</i>	トウモロコシ、トウモロコシサイレージ	白質脳軟化(馬)、肺水腫(豚)、肝障害、免疫機能障害
ゼアラレノン	<i>Fusarium graminearum</i> , <i>F. tricinctum</i>	トウモロコシ、麦、トウモロコシサイレージ	外陰部肥大、流産
アフラトキシン	<i>Aspergillus flavus</i> , <i>A. parasiticus</i>	落花生、トウモロコシ、麦、綿実	肝障害(肝細胞壊死、肝硬変)、出血性腸炎、肝細胞がん、増体率の低下、泌乳量・産卵率の低下、免疫機能低下
ステリグマトシスチン	<i>Aspergillus versicolor</i> , <i>A. nidulans</i>	穀類	肝障害、肝細胞がん
オクラトキシン A	<i>Aspergillus ochraceus</i> , <i>Penicillium verrucosum</i> など	麦類、トウモロコシ	腎障害、肝障害
シトリニン	<i>Penicillium citrinum</i> , <i>P. verrucosum</i> など	穀類	腎障害
パツリン	<i>Penicillium expansum</i> , <i>Aspergillus clavotus</i> など	リンゴジュース粕、サイレージ、麦芽根	興奮、痙攣、出血性下痢、胃潰瘍
ロリトレム	<i>Neotyphodium lolii</i>	ペレニアルライグラス	ライグラススタグガー(痙攣、起立不能)
麦角アルカロイド (エルゴタミン、エルゴバリンなど)	<i>Neotyphodium coenophialum</i> , <i>N. lolii</i>	トールフェスク、ペレニアルライグラス	フェスクトキシコーシス(体温上昇、流涎、泌乳量低下、増体量の減少、四肢末端の壊疽)
	<i>Claviceps purpurea</i> (ライ麦), <i>Claviceps</i> sp., <i>Sphacelia soeghi</i> (<i>Claviceps africana</i> の無性生殖体) (いずれもソルガム)	麦類、ソルガム	四肢末端の壊疽、血管収縮、泌乳量低下

マイコトキシン	産生するかび	汚染の可能性 がある飼料	家畜に対する影響
シクロピアゾン酸	<i>Penicillium cyclopium</i>	トウモロコシ、ピーナッツ	肝臓、膵臓、脾臓、腎臓などの壊死、ニワトリ腺胃のび爛
スラフラミン	<i>Rhizoctonia leguminicola</i>	マメ科牧草	流涎
スポリデスミン	<i>Pithomyces chartarum</i>	牧草	顔面湿疹(光線過敏症)

参考文献

- ・家畜中毒診断オンラインマニュアル
(http://www.naro.affrc.go.jp/org/niah/disease_poisoning/manual/index.html)
- ・宮崎 茂: 臨床獣医. 22(4), 10-13 (2004).